

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2014年7月★第108号

「GO!GO!89ERS!! ECOスクール!」開催

<2回目>

日程：2月23日(日)

会場：太白区中央市民センター 参加者：40名

内容：環境に配慮した「無限のぼり米」の米粉で作るおティナさま★パフェづくり、ティナのマイタンブラーづくりなど

<3回目>

日程：4月13日(日)

会場：仙台市体育館 参加者：19名

内容：環境に配慮した「無限のぼり米」で作るジャンボ8.9mの必勝祈願寿司づくりなど

プロバスケットbjリーグ・仙台89ERSのホームゲームにおいて、株式会社ウジエクリーンサービス、仙台89ERSを運営している株式会社仙台スポーツリンクとMELONの3つが主催となり開催しました。今回の運営費は環境活動にも熱心な株式会社ウジエスーパーからレジ袋代の売上金の一部を寄付いただいたものです。

内容は、株式会社ウジエクリーンサービスの環境への取り組みの紹介、環境に配慮したお米の米粉で作ったパフェ作り、チームキャラクター「ティナ」のマイタンブラーペイントです。同じく環境に配慮したお米で作った8.9mの必勝祈願寿司作りやごみの分別講座などと盛りだくさん。2月の講座は30名のところ、40名の申し込みがあり仙台89ERSの観客の環境に対する関心の高さがうかがえました。

参加者からは「楽しかった」「子どもが楽しんでいる様子でよかった」「割りはしがかみになるときいて、おどろきました」といった感想も聞かれ、3Rの知識を深めることもでき有意義な時間となりました。



マイタンブラーのペイントと米粉のパフェを作りました!

米粉のパフェ



必勝祈願寿司を心をこめてつくりました!

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO(非政府組織)です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 「GO!GO!89ERS!! ECOスクール!」開催
- P2 森林交流会&記念講演会「里山資本主義」
／春の森で遊ぼう! in川崎町貸森林
- P3 コンポスター大活躍の季節到来
／宮城県の住宅用太陽光発電システム補助金を受付中
- P4 MELONcafe プチ講座
／かんきょう読み聞かせ「ジュディ・モード地球を救う」
- P5 協同組合からのお知らせ
／100人リレートーク 高橋喜隆さん
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信
／インターン生を紹介します!
- P7 仙臺農塾vol.2 伝統を新たな美味しさと引き継ぐ
- P8 第19回MELON会員と市民のつどい「MELONフェスタ」のご案内
／イベント一覧／編集後記

東北人こそ東北の豊かさに気づいて！ 森林交流会 & 記念講演会「里山資本主義～地元を活かす 豊かな暮らし(システム)～」

日時：3月19日(水) 15:00～ 展示エリア開場
18:30～20:30 記念講演「里山資本主義
～地元を活かす 豊かな暮らし(システム)～」
場所：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
主催：MELON 後援：みやぎ生活協同組合
講師：藻谷浩介さん(株式会社 日本総合研究所 調査部
主席研究員、「里山資本主義」著者)
司会：渡辺祥子さん(フリーアナウンサー・朗読家)
ブース出展：
青葉山の緑を守る会、エコ・森林(宮城県地球温暖化防止
活動推進員グループ)、株式会社 建築工房 零、仙台市
森林アドバイザーの会、せんだい・市民の森を創る会、特
定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会、特定非営利
活動法人 しんりん、特定非営利活動法人 どんぐりの森、
特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹、特定非営
利活動法人 宮城県森林インストラクター協会、みやぎ里
山整備クラブ、みやぎ生活協同組合、宮城県農林水産部林
業振興課、MELONみやぎ里山応援団
＜資料展示＞権現森自然研究会、緑を守り育てる宮城県連絡会議
※この事業は宮城県平成25年度助成事業みんなの森林づ
くりプロジェクト推進事業(県民提案型森林づくり支援)
の一環として実施しました



会場は満席！

ないました。350名を超える来場があり、15もの団体にブース出展の協力をいただきました。

里山資本主義では、里山に眠っている資源、森林・河川・田畑・耕作放棄地・景観などたくさんのお金には替えられない里山資源を

活かすことで、水と食料と燃料を得ることができます。それらは人が生きていく上で、根本的なもの。これが少しでも自給できると、暮らしや気持ちに余裕が生まれ、安心につながりますよね。

都市に住み、大きく生活を変えられない方でも、例えば田舎の農家とつながりを持っておく、近くの個人商店と仲良くなる、ペレットストーブを導入してみる、家庭菜園を始めてみる、田舎に畑を借りてみる…。いっそ田舎に移り住んでそこから通うのはどうでしょう。

「里山資本主義」の著者・藻谷浩介さんからは、東北への期待を込めた叱咤激励をいただきました。大都市ではこれから高齢化が急激に進むが、工業産業が国際競争力に苦勞している中、品質重視の農作物などは伸びている。高品質を適正な価格で売り込むことで



講師 藻谷浩介さん
軽快な口調で引き込まれました

収入を得、それを地域で回すことで地域が豊かになると、東北と大都市を比較しこれからの21世紀には東北が大逆転できることを教えてくださいました。

里山資源を豊富に有する東北。その価値に東北人自身が気づいていないのだと気づかされました。大都市に合わせるのではなく、東北・地元地域自身の価値をしっかりとアピールしていくことが、これからの進み方なのだろうと感じました。

30万部を超える話題作『里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く』([角川Oneテーマ21 2013年])は、もう読みましたか？決して江戸時代の生活に戻れ、全員が自給自足の生活をしろ、ということではありません。

発展したマネー経済に頼っていた私たちが体験した「震災」。3年以上が経った今、日々の生活に追われてあの状況を思い出すことが減った方もいるでしょう。マネー経済の危うさ、有事が起きた際の不安・不満・不信…。そのマネー経済とは別にもうひとつ、「里山資本主義」という里山を活かし地に足をつけたサブシステムを取り入れてみませんか。

MELONみやぎ里山応援団では、宮城県各地の森や里山で活動している人たちをつなぎたい・活動の活力となるような講座を開催したいという思いから、交流会&記念講演会を行

春の森で遊ぼう！ in川崎町貸森林

日時：5月11日(日) 9:00～15:30
集合・解散：JR長町駅東口
講師：宮城県地球温暖化防止活動推進員のグループ
「エコ・森林」
参加者数：25名

最高の天気恵まれ、過去最高25名が参加した人気講座「森で遊ぼう！」。ターザンロープやブランコ、ブンブン駒や竹笛といった、昔ならありふれた手作りの自然の遊びに子ども大人も夢中になりました。「ターザンロープは、木にさわれそうなくらいビューンとって楽しかった」「娘はお汁

(はっと汁)を4杯も食べてました。」と大好評でした。

遊ぶだけではありません。ハスの中でクイズをしながら森に手を入れることが大切だということをお話したり、現地ではチェーンソーで木を切り倒す「伐倒」の見学と薪割りを体験し、森を活用する意味と楽しさを学びました。秋にも開催予定です。お楽しみに！



過去最多の参加者が春の森を楽しみました

「コンチャンマン」(コンポスター) 大活躍の季節到来

4R推進部会ではみどりの森幼稚園やYMCA加茂保育園での給食残さをコンポストで堆肥にして畑に使用し、野菜を植え、収穫をして、給食で使うという一連の食の循環を体験するプログラムを協同で行ってきました。

仙台生ごみリサイクルネットワークの協力を得て先生方と臭いの少ないコンポスターの使い方などを研究、できた堆肥を園児と一緒に5月下旬に畑に蒔き込みました。子どもたちはみんなで相談して思い思いの野菜を植えて、今秋の収穫を待っているところです。

蒔き込み作業の前に、コンポスターが主役の「コンチャンマン大活躍の巻」というペープサート(紙人形芝居)を上演しました。「堆肥はどうして臭うの?」という率直な質問にうまく答えられなかったなどのハプニングもありましたが、興味を引き付けることには成功したようです。この事例を他の幼稚園や保育園にも広げるために、仙台市の社会実験に登録して、他団体ともプロジェクトを組んで進めていきます。仙台市内には250近くの幼稚園・保育園があり、環境教育のフィールドが大きく広がります。

これからの季節は生ごみ堆肥作りに絶好の季節、「コンチャンマン」が大活躍する時期です。一緒に生ごみ堆肥づくりをしませんか?



園児と一緒に植え付け前の蒔きこみ



ペープサート劇場上演 (5月27日 加茂保育園)



みどりの森幼稚園の設置コンポスター

宮城県の住宅用太陽光発電システム補助金を MELON事務局で受付中

MELONでは5月12日(月)から、宮城県の住宅用太陽光発電システムに対するH26年度補助金の受付窓口を開設しています!今年度の概要は以下のとおりです。

申請受付期間

2014年5月12日(月)～2015年2月27日(金)(必着)
【2014年1月1日～2014年12月31日の間に電力受給を開始した県内に住所を有する個人又は法人が対象】
※ただし、申し込みの状況により、予算額に達した場合は、期限前に受付を終了します。

補助金額 1件あたり 60,000円(定額)
県内産パネルの場合上乗せ20,000円/件
補助予定件数 約4,900件

現在の受付件数及び他詳細条件等は以下URLをご確認ください。

■平成26年度住宅用太陽光発電システム補助金事業について (宮城県ウェブサイト)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/taiyoukougaiyou-h26.html>

■現在の受付件数(MELONウェブサイト)

<http://www.melon.or.jp/melon/naiyou/taiyoukou.html>

**平成26年度
宮城県住宅用太陽光発電システム補助金**



MELONcafe

3月27日(木) 13:30 ~ 15:30

「着物をリメイク★さくらの飾り置物づくり」

5月17日(土) 13:30 ~ 14:30

「着物をリメイク♪ポケットティッシュカバー作り」

3月は裁縫の中級者向けに、着なくなった着物を再利用して「さくらの飾り置きづくり」の講座を行いました。ゴミの減量についてお話をしてから作成開始。布はあらかじめパーツに切っていたため、当日は線にそって縫っていただく。複雑に縫い進めていかなければならないため参加者からは「縫いごたえがある」「おしゃべりしな



【3月】2時間かけて桜の飾り置き作りをしました



【5月】着物のティッシュカバーは簡単に作れます！

がら縫い進めて楽しい時間を過ごした」などの感想をいただきました。

5月も着物をリメイクして「ポケットティッシュカバー作り」を行いました。3月の中級者向けの講座とは違い、直線縫いだけで簡単に着物柄を生かした仕上がりになりました。参加者からは「簡単にできて着物地がすてき」などの感想がありました。型紙を参加者へ配布したため家にある着物や古着でも作成してほしいです。

7月はつめたい牛乳と米粉で「ミルクぜんざい」を作ります。米粉を使用することで国内食料自給率を向上することが目的です。今後 MELONcafe プチ講座では1時間前後でちょっとエコな講座を引き続き行っています。



参加者の皆さんは縫うのに集中してました！

今後の MELONcafe プチ講座

7月19日(土) 13:30 ~ 15:00

「米粉でかんたん♪つめたいミルクぜんざい作り」



ジュディ・モード地球を救う ーオトナの楽しみー

絵本や児童書は子どもだけが楽しむものではありません。大人にとってもとても楽しいものなのです。大人が絵本や児童書を3倍楽しむ方法を考えてみましょう。

例えば、メーガン・マクドナルド 作、ピーター・レイノルズ 絵、宮坂宏美 訳「ジュディ・モード地球を救う」(小峰書店、2005年)を手にとってみましょうか。おおっ、字が大きいし、短い物語なので通勤時間でも読めそう。この調子でいけば、1年間で200冊は読める。・・・と言うことは、少なくとも200人(人とは限りませんが)の物語をこころに焼きつけることができる。・・・と言うことは、200

人を理解することができずね。子どもや先生、動物や宇宙人まで。お父さんがやっている「異業種交流会」や「名刺交換会」をはるかに上まわっています。なんかわくわくしませんか？

子どもに読んで聞かせれば、俳優さんになったような気分になります。台詞の

ところと地部分を分けて読んだりすれば、「お母さんって、声優みたい！」と子どもたちから賞賛の声。英語で冗談が話せたらと一念発起するなら、原文を取り寄せて、軽妙なやりとりを楽しむのもいい。

そしてもう一つ、物語に直接関係があるかどうかは別にしてその時代の「空気」つまり、作者の周りではどんなことが起きていたのかを調べてみるのも楽しいのです。この物語は2002年にアメリカで書かれたのですが、その前年、アメリカはブッシュ政権が京都議定書を離脱、そして翌年にはヨハネスブルグで「持続可能な開発に関する世界首脳会議」が開かれます。やはり前年、アメリカは同時多発テロに見舞われ、報復としてイラクに進行する口実を次々に発表していましたね。



各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生活協同組合からのお知らせ



近年、大型台風の頻発や海面上昇など、地球温暖化による気候変動が大きな問題になっています。みやぎ生協では温暖化防止のために、わたしたちのくらしの中でできる省エネの8つの行動「省エネエイト」を提案し、くらしの見直しをすすめています。

これからの季節、ムリなくムダなくココチよく、夏バージョンの「省エネエイト」にチャレンジしてみましょう。みんなの省エネ・節電で「節電所」を作ることができますよ！！

取り組み期間は2014年6月1日～8月末日 チャレンジシートをご希望の方は下記までご連絡ください。ホームページから参加することもできます。

みやぎ生協 2014年夏の省エネ → 検索

<http://www.miyagi.coop/member/kankyau/news/detail/71/>

申し込み・連絡先 みやぎ生協生活文化部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL : 022-218-3880 FAX : 022-218-3663 メール : sn.mkankyok@todock.jp



目指せ100人！

環境リレートーク

再スタート！

2004年6月、当時の事務局長をトップバッターに、MELON20周年を目指して始めた50人リレートークも、皆さまのご協力により2014年4月に突破しました。バトンを一度MELONに戻し、現事務局長を51人目として、タイトルも新たに再スタートします！



第51人目の執筆者

高橋喜隆さん

(MELON事務局長)

この度、MELON事務局長をつとめることになった高橋喜隆です。

6月までみやぎ生協で役員として勤務していたときは、MELONとは店舗開発・環境管理管掌として、前事務局長の大原を通しての間接的なかわりでしたが、今度はMELONとみやぎ生協をつなぎ、事務局が仕事をしやすい環境づくりが仕事となります。

コープ東北で店舗開発、環境管理の仕事をしながらの事務局長となりますが、よろしくお願ひします。

現在住まいは亘理町です。田舎暮らしを求めて仙台か

ら引越し、愛犬との暮らし、狭いながらも家庭菜園での野菜、果物作りに、喜びを見出していました。しかし、東京電力原発事故で、家庭菜園は汚染され、2年間は栽培を諦め、ようやく昨年から再開しました。福島第一原発からも女川原発からも60kmの地で暮らしている身にとって、大飯原発差し止め訴訟福井地裁判決の「原発停止で多額の貿易赤字が出るとしても、豊かな国土に国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の損失だ」との指摘は、心から納得です。

原発を再稼働しなくとも済む、エネルギー消費の見直しと再生可能エネルギーの創出を、個人、団体、企業が、連携して地域で取り組むことが、地域の富づくりに必要だとつくづく感じています。

… 次号執筆者紹介 …

大越健治さん

(みやぎ生活協同組合専務理事 / MELON理事)



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.64

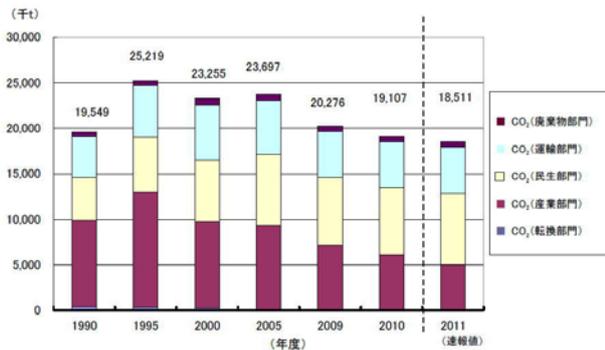
推進員だより No.13

平成26年度推進員委嘱状交付式&研修会開催

4月24日（木）、宮城県庁にて推進員委嘱状交付式が開催されました。今年度の委嘱対象者は、第1期5名、第3期5名、第5期6名、第7期14名の計30名。他の期も含めると、全体で47名となりました。当日は、平日にも関わらず多くの推進員にご出席いただき、宮城県環境生活部の佐野部長から出席者一人ひとりに委嘱状が手渡されました。

交付式の後に行った研修会では、宮城県環境政策課から県内の温室効果ガスの排出状況についての説明がありました。

説明によると、2011年（速報値）の宮城県に



宮城県の部門別CO₂排出量の推移
 「出典：宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」

おけるCO₂排出量は1,851万1千トンと、2005年以降減少傾向にあります。しかし部門別の内訳を見ると、民生家庭部門の割合は年々増加しており、1990年11.4%から2011年20.6%と倍増しているのが現状です。このことから、家庭からの温暖化対策を進めることが不可欠となってきます。今後も推進員の活動を継続していくことが求められます。

意見交換では、新規の推進員養成を求める声や、市町村に対して「推進員」の存在をアピールしてほしいといった要望が寄せられました。地域に根差した活動を行う推進員だからこそ、自治体との連携の重要性を感じていることが伝わりました。



出席者のみなさん

インターン生を紹介します！

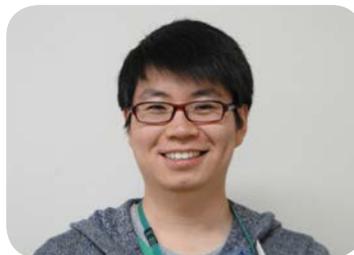
（公財）損保ジャパン環境財団のCSOラーニング制度により、今年も3名のインターン生が仲間入り♪さまざまな場面で皆さんとお会いすることもあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



■佐藤 優司

「社会人として必要なスキルを学ぶと同時に、環境問題に対して市民としてどのように向き合っていけばよいのかについて、自分なりの答えを出せればと思います。」

趣味：草野球



■ハン キ

「環境活動に参加すると同時に、日本のNPOの魅力を見たいです。これからインターンを通じて、たくさんの知識を身につけるように頑張ります。」

趣味：バスケット、運動



■宮浦 浩美

「社会に出て、自分の力を十分に発揮できるように成長したいです。少しでも、宮城の環境の力になれるように頑張ります。」

趣味：ミュージカル鑑賞、料理



大人の食育プロジェクト 仙臺農塾 Vol.2

伝統を新たな美味しさで引き継ぐ

第5回大人の遠足

「三浦さんのセリに会いに行こう～収穫から鍋を体験！～」

日 程：3月15日（土）

ゲスト：三浦隆弘さん（名取市セリ農家）

会 場：三浦隆弘さんの農園

第6回「よみがえれ！日本の消費者

～食品流通の変化に翻弄されるな～

日 程：4月9日（水）

ゲスト：佐藤文行さん（マルブン食品株式会社代表取締役）

会 場：和醸良酒 O だけ（青葉区大町2-4-1）

第7回「幻の伝統野菜・小瀬菜大根

～新たな春の魅力を味わう～

日 程：5月14日（水）

ゲスト：大河内裕子さん（管理栄養士事務所D&Nサポートシステムズ代表）

会 場：Trattoria Companio（青葉区中央3丁目5-30）

第8回「ほやおやし直伝！目からウロコのおいしい食べ方」

日 程：6月11日（水）

ゲスト：木村達男さん（株式会社 三陸オーシャン）

会 場：夕焼け麦酒園（青葉区花京院1-2-20）



仙台の冬の風物詩になりつつある「セリ鍋」。鶏などのだし汁に、具はセリだけというシンプルな鍋ですが、セリの根・茎・葉のそれぞれの味の違いをじっくりと味わう贅沢な鍋です。三浦さん

のセリ田にお邪魔し、みんなで収穫を体験、セリの根を一生懸命洗い鍋を堪能しました。主に名取で栽培されている仙台セリの歴史は、380年以上。豊富な地下水とイトミミズなどの生き物が作る土で、毎年苗を育ててセリを栽培し続けています。三浦さんは「伝統作物は大事な在来資源。思いのある食べもの、本物に触れる場所をつくれれば」と言います。セリは雑煮などの薬味として食されてきましたが、セリ鍋という新しい食べ方で、セリ根を丁寧に洗ってくれる誠意のある飲食店と共に、美味しいセリを追及しています。

小瀬菜大根は味の方舟にも認定されている宮城の貴重な伝統野菜です。加美町小野田小瀬屋敷だけで作り続けてきた小瀬菜大根も今や栽培農家は1軒のみで継承が危ぶま



れています。小瀬菜大根は根が小さく大きな葉をつける葉大根で、その葉の茎の部分だけを漬物にし、ひっそりと親しまれてきました。その小瀬菜大根の美味しさに心打たれた“小瀬菜大根エバンジェリスト”の大河内さんは、冬の葉や根、そして春の菜の花や実さやの新しい食べ方を提案し、小瀬菜大根の美味しさを熱い思いで伝えていきます。

ほやも宮城が全国の生産量8割を誇る特産物です。しかし、そのグロテスクな形状と鮮度が命で、独特の匂いがあるため、初めての方は刺身などの生食で苦手になりがちです。ほや食の歴史



は古く、江戸時代の伊達家の正月料理にもお吸い物として記されており、現在も干しほやからダシをとる食文化もあります。ほやは甘味・塩味・酸味・苦味・旨味という5つの味が揃っている稀有な食材なのです。10年前、そのほやの味に魅せられた「ほやおやし」こと木村達男さんは、初めての方でも食べやすい商品を開発・販売し、ほやの美味さを広めることに生涯をかけています。ジャーキー、一夜干し、味噌漬け、ほや塩などがあり、殻つきポイルほやも絶品です。当日はサラダ、グラタン、フライなども堪能し、ほやは生食という先入観がすっかり打ち砕かれました。震災の後種付けしたほやが今年、ようやく食べごろになり復活します。酢の物だけでなく、さまざまな料理で宮城のほやを楽しんでください。



「消費者が声をあげることが大事なんです」と佐藤文行さんは私たちに鼓吹します。揚げかまぼこ生産量日本一の塩釜で、昭和25年に水産加工会社からスタートしたマルブン食品では、現在

化学調味料・合成保存料不使用・国産野菜の揚げかまぼこにこだわっています。食品流通業で経験を積んだ佐藤文行さんは、かつて消費者は商店街などで食材の知識を教わっていたものの、今は大型販売店化したことで知識を得ることなく、買わされている状況を危惧しています。商品の価格の裏側や事情を交えたお話があり、私たち消費者が学び、要望の声をあげたり行動することで、変えていけるのだと教えてくれました。

仙臺農塾はVol.3を8月から再開予定です。今後も宮城のこだわりの食を全力で応援していきます！

「第19回 MELON 会員と市民の つどい MELON フェスタ」 を開催します!

MELON では今年も第19回 MELON 会員と市民のつどいを以下のとおり開催します。詳細は現在実行委員会で鋭意企画中です。楽しみにお楽しみに。決まり次第ホームページ等で発信していきますので、ぜひともお越しください!

タイトル: 「第19回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ」

日 程: 2014年9月20日(土) 13:30~(予定)

場 所: みやぎ生協文化会館 with
(仙台市泉区ハ乙女4-2-2)

目 的: MELON 会員と役員および会員同士の交流を目的として開催します。(会員以外のご参加も OK です)

内 容: お茶などを飲みながら、MELON の部会・プロジェクトメンバーに話が聞けるブースや、協力企業・団体のブース出展、ライブ演奏と書道のコラボ、マジック、クイズ大会など、多彩な内容を企画中です!

毎月上旬に MELON 情報センターよりメールマガジンを発信しています。どなたでも登録可能です。配信内容は MELON が今取り組んでいる活動ニュース、イベント情報、県内の環境新聞情報など。メールにて melon@miyagi.jp までお申し込みください。

編集後記

■給食の生ごみを堆肥化し、畑に使用し幼児の「食の循環体験」の教材に変えるという活動を仙台市の環境社会実験に応募しました。採用に向けた公開プレゼンテーションをし、分かり易く説明するのは難しいと感じました。(篠原)

■太陽光補助金窓口のスタッフ4名が仲間入りです。男性も増えて、これで MELON 事務局スタッフの男女比はちょうど半分!賑やかになったので、気軽に事務所にお立ち寄りくださいませ~(廣重)

■年度初めの穏やかな日々に関わりを告げ、今年度の事業が動き出して忙しくなってきました。今年はエコドライブをテーマにした新たなプロジェクトに挑戦しています!(岸)

■最近、太陽光発電キットを購入して自家発電所デビューしました!今年の夏の太陽に期待します!(菅田)

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくは MELON 事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

7/15(火)	MELONcafe 企画部 例会
7/18(金)	自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
7/19(土)	MELONcafe プチ講座「米粉でかんたん♪ つめたいミルクぜんざい作り」開催
7/20(日)	「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ 2014」にブース出展
7/21(月・祝)	MELON 環境市民講座「夏休み宿題企画! 親子でソーラーカーを作ろう!」開催
7/24(木)	情報センター 例会
7/28(月)	みやぎ里山応援団 例会
7/30(水)	水部会 例会
8/2(土)	「定禅寺夕暮れいきものさんぽ『セミー・ホッターと秘密の穴』をさがせ!」開催
8/3(日)	「せんだい地球フェスタ 2014」にブース出展
8/8(金)	
9(土)	Kobo スタ宮城 エコ体験ブースを実施
10(日)	
9/4(木)	4R キッキング体験講座「おいしく食べよう! 緑のカーテン エコな夏野菜料理教室」
9/7(日)	「エコフェスタ 2014 ~ごみ0タウンで快適ライフ~」にブース出展

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉

777 名

法人 77

任意団体 13

個人 687

2014年6月5日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分の MELON 協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部が MELON に寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>



この印刷物は、輸送・マイレージ低減による CO₂ 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。